

中小企業景況調査報告書

(第131回)

平成25年7～9月期 実績
平成25年10～12月期 見通し

平成25年10月

北海道商工会議所連合会

目 次

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	2
2. 調査対象	2
3. 調査地域及び調査方法	2
4. 業種別・規模別回答状況	2

II. 概 況

1. 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2. 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成25年9月
- (2) 調査対象期間 平成25年7～9月期実績及び平成25年10～12月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	41	53	42	65	67	268
中規模	14	13	19	11	22	79
合計	55	66	61	76	89	347
構成比(%)	15.9	19.0	17.6	21.9	25.6	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 38社、建設業 28社、卸売業 24社、
小売業 28社、サービス業 64社、合計182社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

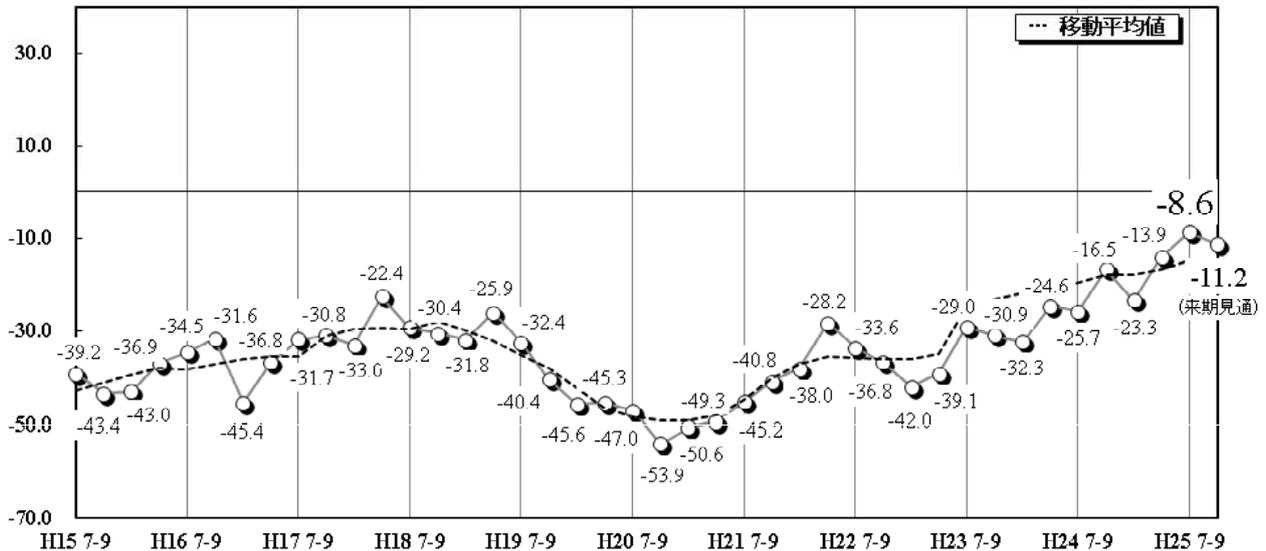
Ⅱ. 概 況

- 業況D・Iは回復基調も先行きは慎重な見方 -

業況推移（全業種平均D・I）
（好転－悪化）

D・I

前年同期比



今期の業況

今期（7月～9月期）の中小企業景況調査におけるの全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成24年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 8.6と前回調査より、5.3ポイントマイナス幅を縮小した。

来期の業況見通しは、 11.2とマイナス幅を拡大する見通しとなっている。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 21.4 今回 16.1)、建設(前回4.3 今回3.0)、卸売(前回 9.8 今回 6.6)、小売(前回 29.0 今回 18.9)、サービス(前回 13.8 今回 4.8)と、建設業を除く4業種でマイナス幅が縮小した。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、依然として全業種で「需要の停滞」（製造業20.8%、建設業17.4%、卸売業39.1%、小売業24.6%、サービス業24.1%）が依然として大きな要因となっている他、製造業では「原材料価格の上昇」（33.4%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（20.7%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（23.5%）、小売業では「消費者ニーズの変化への対応」

(15.4%)、サービス業では「材料等仕入価格の上昇」(13.4%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で16.8%と、前回調査時(14.4%)より2.4%上昇と、前回より設備投資を動きが見られる。また来期の設備投資予定については、16.2%とほぼ横ばいで推移する見通し。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 16.1(来期見通し 19.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成25年4月～6月期)時点からの推移では、前回 21.4 今回 16.1と5.3ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 19.6とマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

- ・原材料価格や諸経費(光熱費等)が上昇している一方で、商品の納品単価は上がらない。また、設備投資をしたいが将来の見通しが立たないため、見送っている状況。(食料品製造業)
- ・資材の高騰、販売価格据置、コストUP等により賃金はとても上げられないムード。
(家具製造業)
- ・一時的な需要増なので、人材や機械への投資が難しい。現体制での受注拡大が課題となっている。(鉄工)
- ・円安により海外原料が高騰していることに加え、消費税増税等不安要素は多い。(水産加工業)
- ・売上は増加傾向にある。北海道に訪れる国内外の観光客が増えていることが寄与していると思われる。(菓子製造業)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 3.0(来期見通し 0.0)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成25年4月～6月期)時点からの推移では、前回4.3 今回3.0と1.3ポイント悪化した。

来期は0.0と悪化する見通し。

〔主なコメント〕

- ・受注工事が本格化し、繁忙感が増している。気分的な好転感覚は持っているが、職人や技術者の確保が難しくなっている。(建設業)
- ・公共工事は増加している反面、資材の調達が難しくなっており、工事の遅れが発生している。(水道整備工事)
- ・仕事は増加し若干の労働者の不足感があるが、来年以降工事量の増加が続くとも思えず、現在の雇用人数で進めていく方策をとっており、対応に苦慮している。(建設業)
- ・職人(大工)不足により、受注を断念する場面がある。(リフォーム工事業)
- ・工事受注の件数はそれなりにあるが、受注額は厳しい為、経費の捻出に苦慮している。

(管工事業)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 6.6（来期見通 5.3）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成25年4月～6月期）時点からの推移では、前回 9.8 今回 6.6と3.2ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 5.3とマイナス幅をさらに縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・売上は前年よりも増加しているが、利益はそれほど増えていない。（産業機械器具卸）
- ・市場環境が依然低価格を求めており厳しい状況が続く。今後、消費税増税で店頭価格に反映できるか否かが懸念。（飲料卸）
- ・ロシア産冷凍タラバ・ズワイなど、円安の影響により価格が高騰。年末に向け、取扱い量も減少の見込み。（水産物卸）
- ・工事の増加から設備資材の需要が高い。（建築資材卸）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 18.9（来期見通 12.5）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成25年4月～6月期）時点からの推移では、前回 29.0 今回 18.9と10.1ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 12.5.とさらにマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・観光需要が昨年より伸びている一方で、仕入価格が上昇し、販売価格への転嫁が遅れている。
(ガソリンスタンド)
- ・商店街ではどの店も経営者の高齢化、後継者不足などの問題を抱えている。抜本的な解決策が必要。（商店街）
- ・個人の所得水準が伸び悩む中で、電気料金の値上げや食品関連の値上げの動向により、消費が一段と冷え込む可能性がある。（スーパー）
- ・売上額は増加、業況は好転の見込みだが、10月からの時給(最低賃金)のアップ、来年4月の消費税増税等の影響が懸念される。（コンビニエンスストア）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 4.8（来期見通 18.3）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成25年4月～6月期）時点からの推移では、前回 13.8 今回 4.8と9.0ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 18.3とマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

- ・インバウンド増、道外客微増、道内客前年並。売上は増えるも仕入材料、燃料等高騰により減益推移。（ホテル）
- ・夏場の暑さと好天に恵まれたことにより顧客の利用は伸びたが、円安による燃料の高騰を価格転化できず経営は厳しい状況。（クリーニング）
- ・消費税率の引上げ分を価格に転嫁するか否か業界の中でも方向性は定まっていない。理美容大手チェーンの進出により顧客が奪われている中、難しい判断を求められている。（理美容業）
- ・有効求人倍率の上昇に伴い、期間契約の従業員の確保が困難になってきている。

(警備・人材派遣)

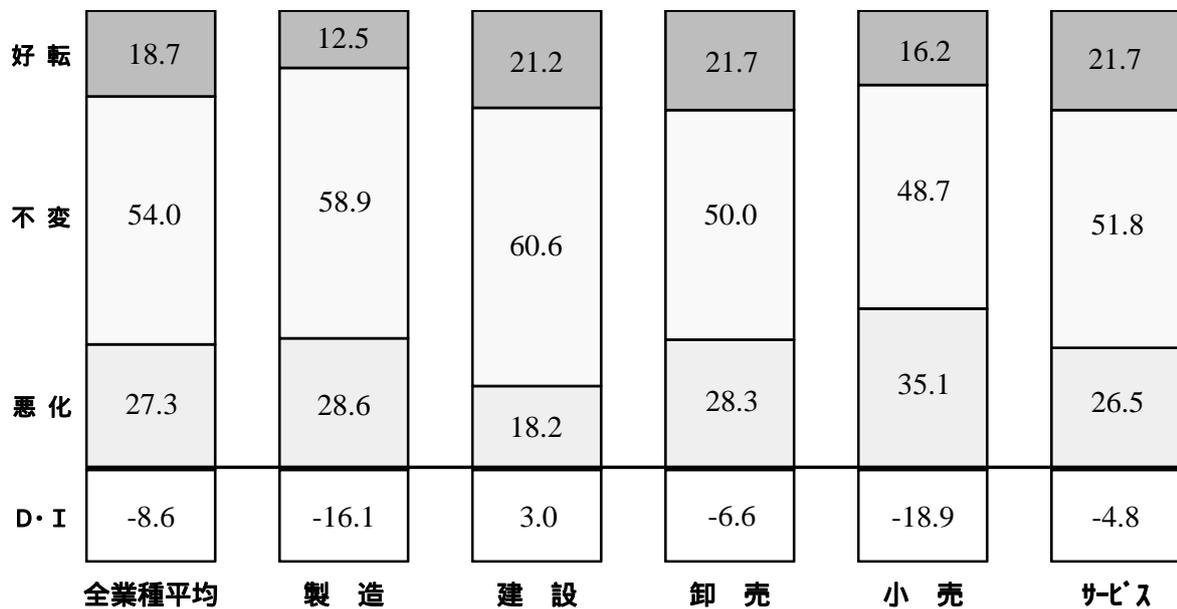
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成24年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

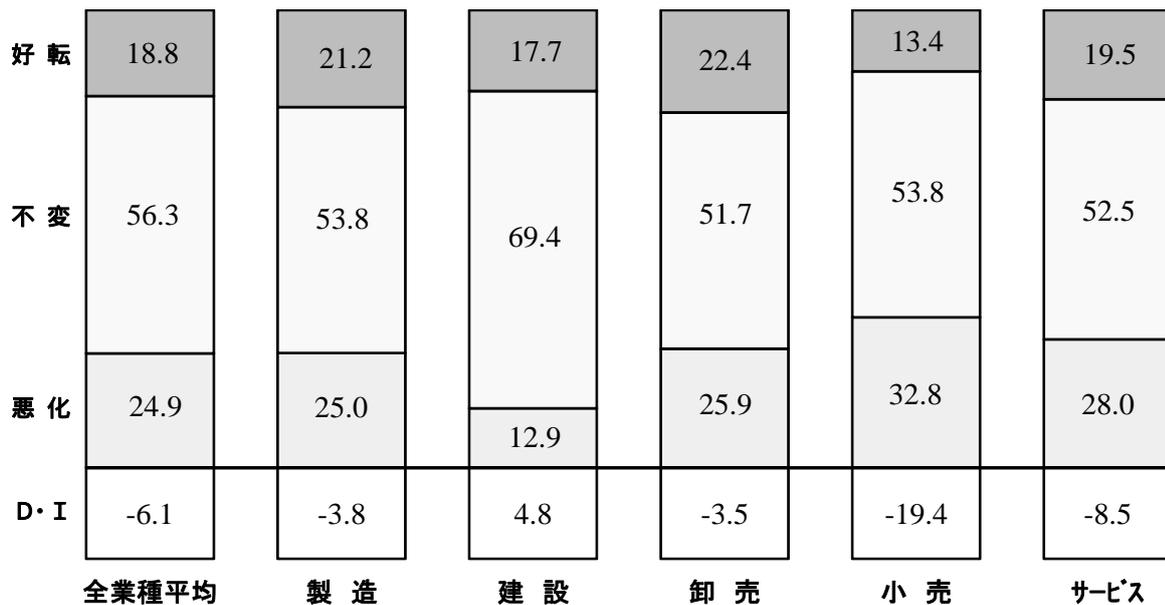


全業種平均でD・I値 8.6〔前回調査時（平成25年4～6月期 13.9）より5.3ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 21.4 16.1〕、建設〔前回 4.3 3.0〕
卸売〔前回 9.8 6.6〕、小売〔前回 29.0 18.9〕
サービス〔前回 13.8 4.8〕

【前期比】（平成25年4～6月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況(前期比)

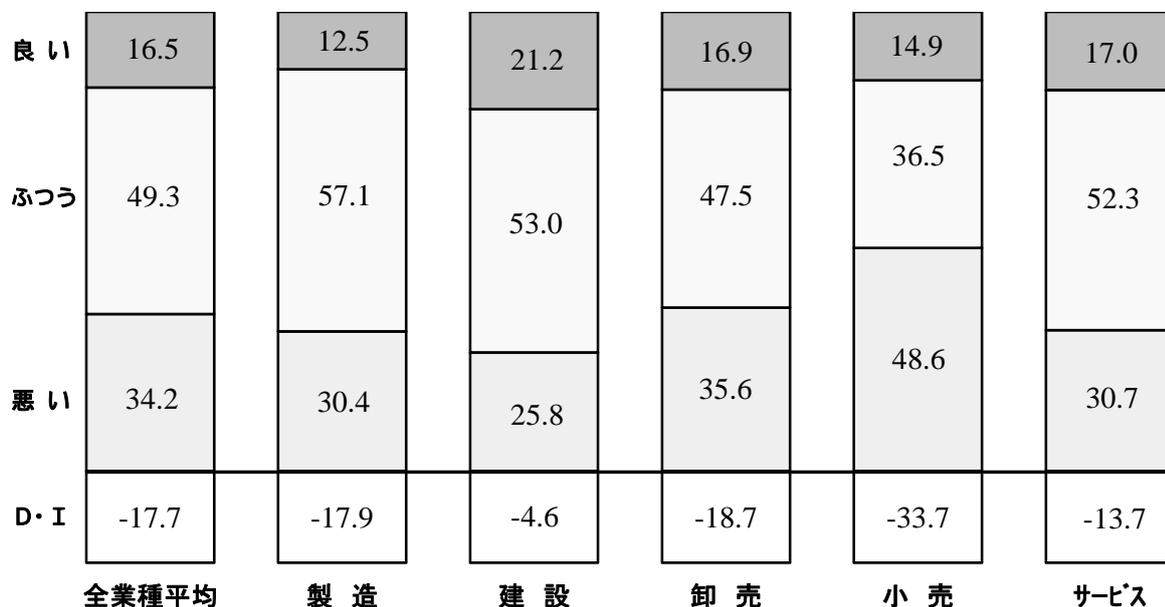


全業種平均でD・I値 6.1〔前回調査時（平成25年4～6月期0.3）より6.4ポイント悪化〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 19.7 3.8〕、建設〔前回 20.9 4.8〕
 卸売〔前回 6.7 3.5〕、小売〔前回 7.6 19.4〕
 サービス〔前回 1.1 8.5〕

【今期の水準】

今期の業況(今期の水準)

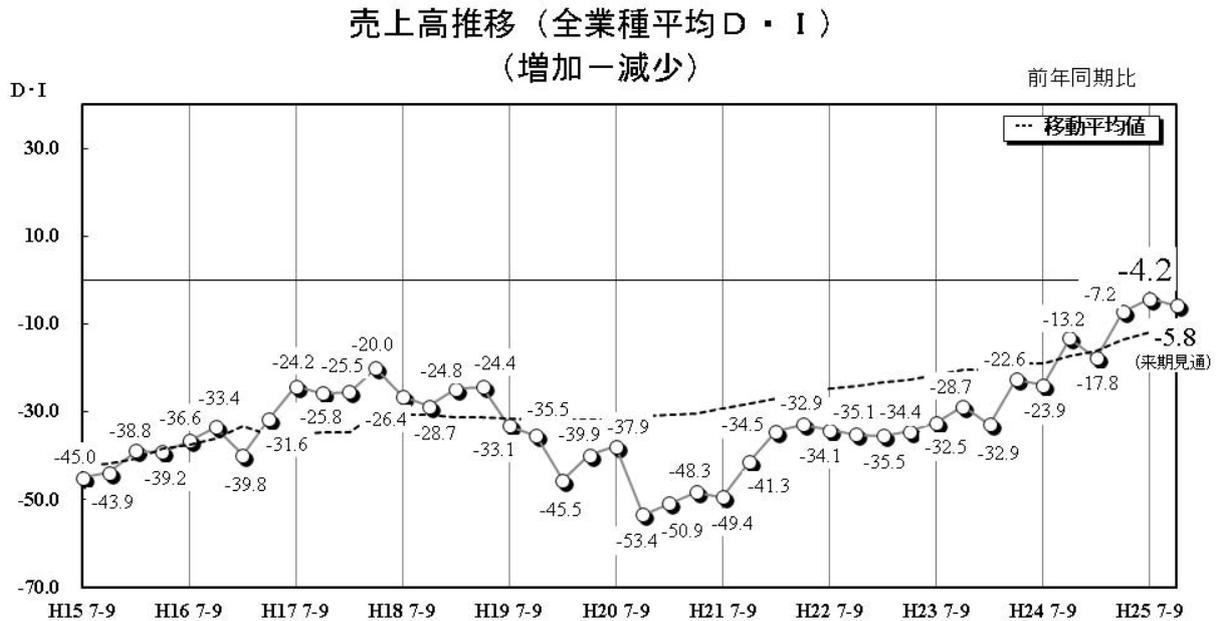


全業種平均でD・I値 17.7〔前回調査時（平成25年4～6月期 21.8）より4.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

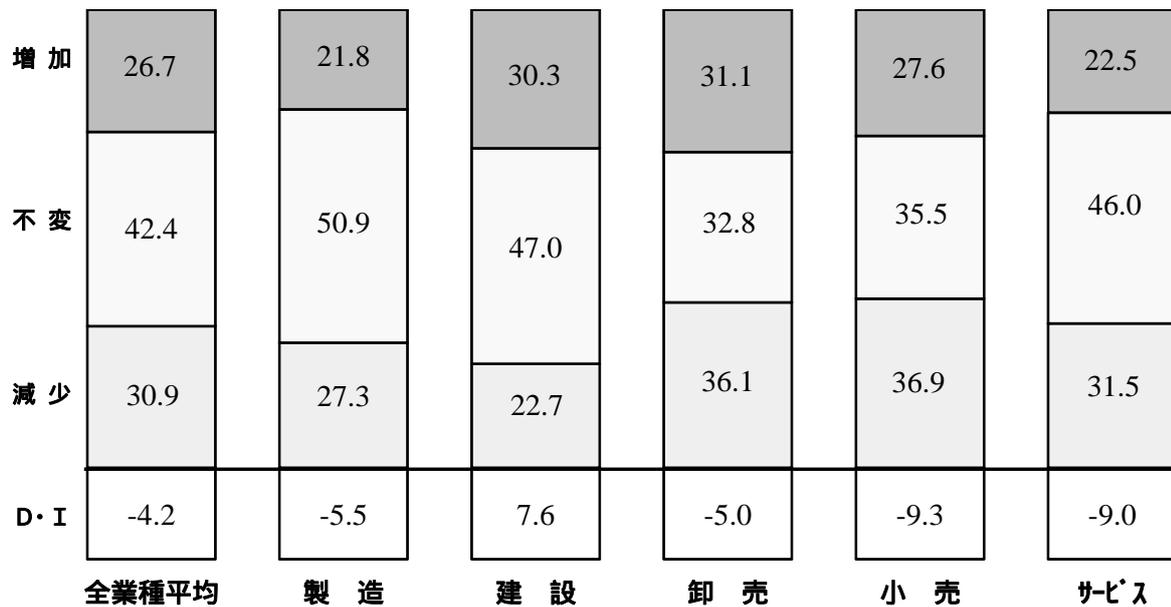
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 17.2 17.9〕、建設〔前回 11.3 4.6〕
 卸売〔前回 26.7 18.7〕、小売〔前回 34.7 33.7〕
 サービス〔前回 18.7 13.7〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成24年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高(前年同期比)

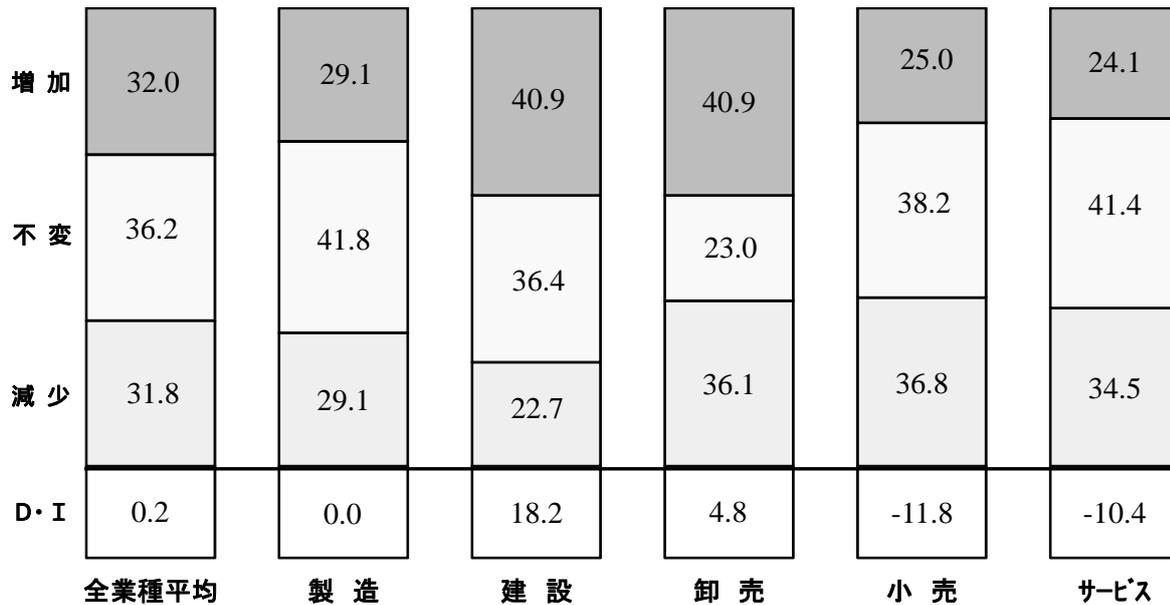


全業種平均でD・I値 4.2〔前回調査時（平成25年4～6月期 7.2）より3.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 3.4 5.5〕、建設〔前回 9.9 7.6〕
卸売〔前回 4.9 5.0〕、小売〔前回 14.0 9.3〕
サービス〔前回 17.9 9.0〕

【前期比】（平成25年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高(前期比)



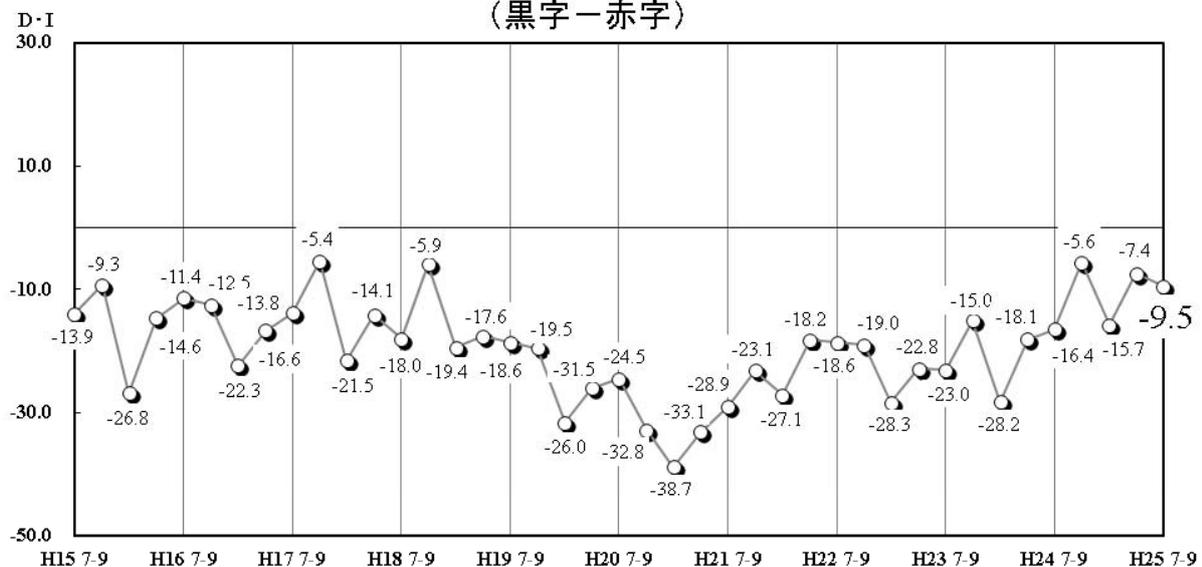
全業種平均でD・I値 0.2〔前回調査時（平成25年4～6月期 8.6）より8.4ポイント悪化〕。建設業で売上高は増加したものの、小売業とサービス業では、マイナス幅に転じた。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 1.7 0.0〕、建設〔前回 0.1 18.2〕
 卸売〔前回 27.9 4.8〕、小売〔前回 3.9 11.8〕
 サービス〔前回 9.3 10.4〕

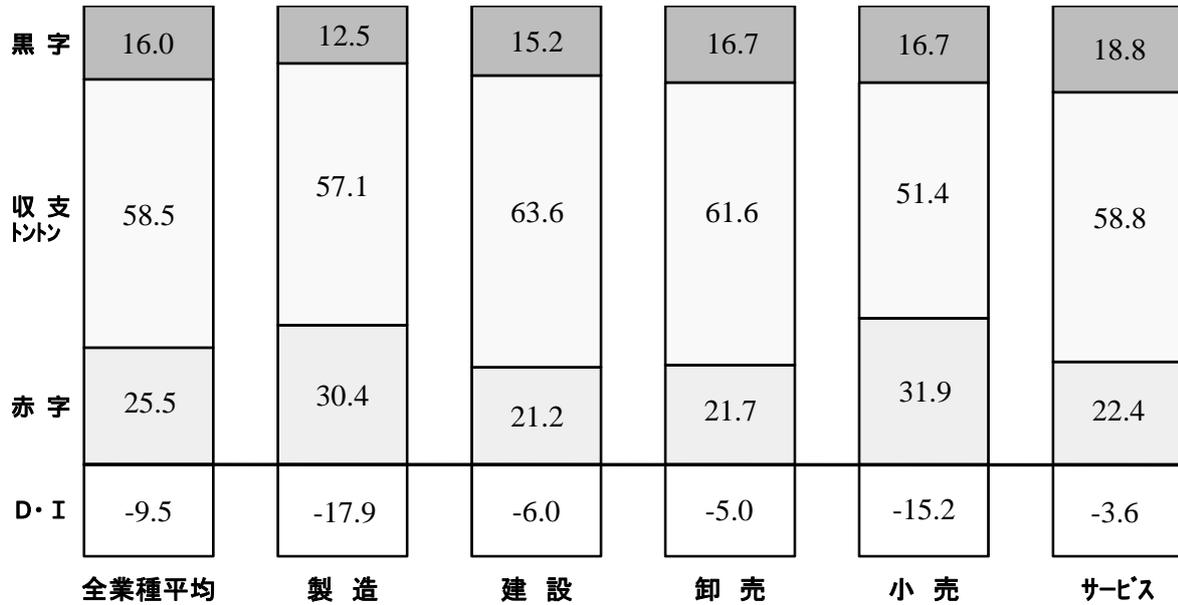
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】

採算推移（全業種平均D・I）
 （黒字－赤字）



今期の採算(今期の水準)

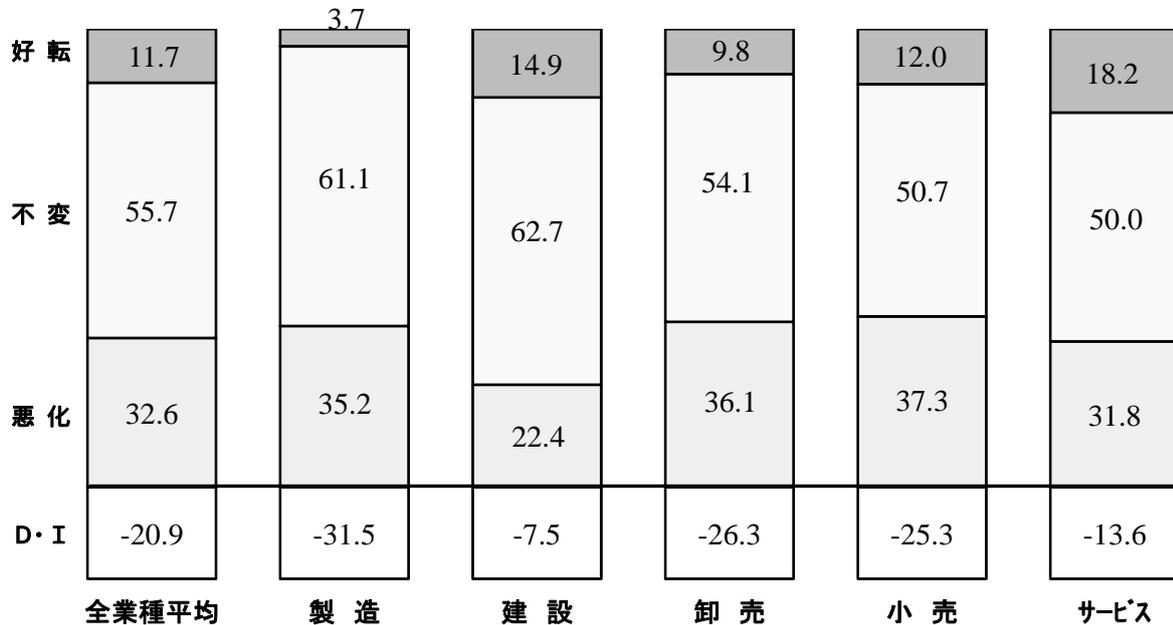


全業種平均でD・I値 9.5〔前回調査時(平成25年4~6月期 7.4)より2.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

[業種別D・I値] 製造〔前回 3.4 17.9〕、建設〔前回 2.8 6.0〕
 卸売〔前回 5.0 5.0〕、小売〔前回 14.3 15.2〕
 サービス〔前回 11.5 3.6〕

【前年同期比】(平成24年7~9月期の水準と比較した今期の採算)

今期の採算(前年同期比)



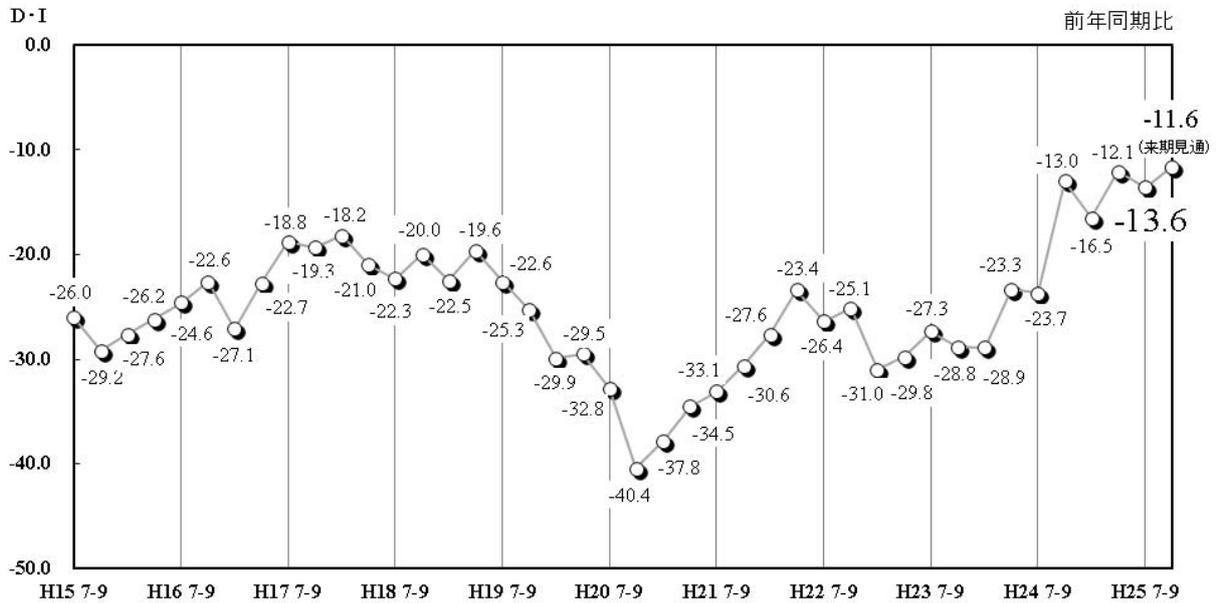
全業種平均でD・I値 20.9〔前回調査時(平成25年4~6月期 23.3)より2.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

[業種別D・I値] 製造〔前回 24.5 31.5〕、建設〔前回 18.3 7.5〕
 卸売〔前回 14.7 26.3〕、小売〔前回 32.9 25.3〕
 サービス〔前回 26.3 13.6〕

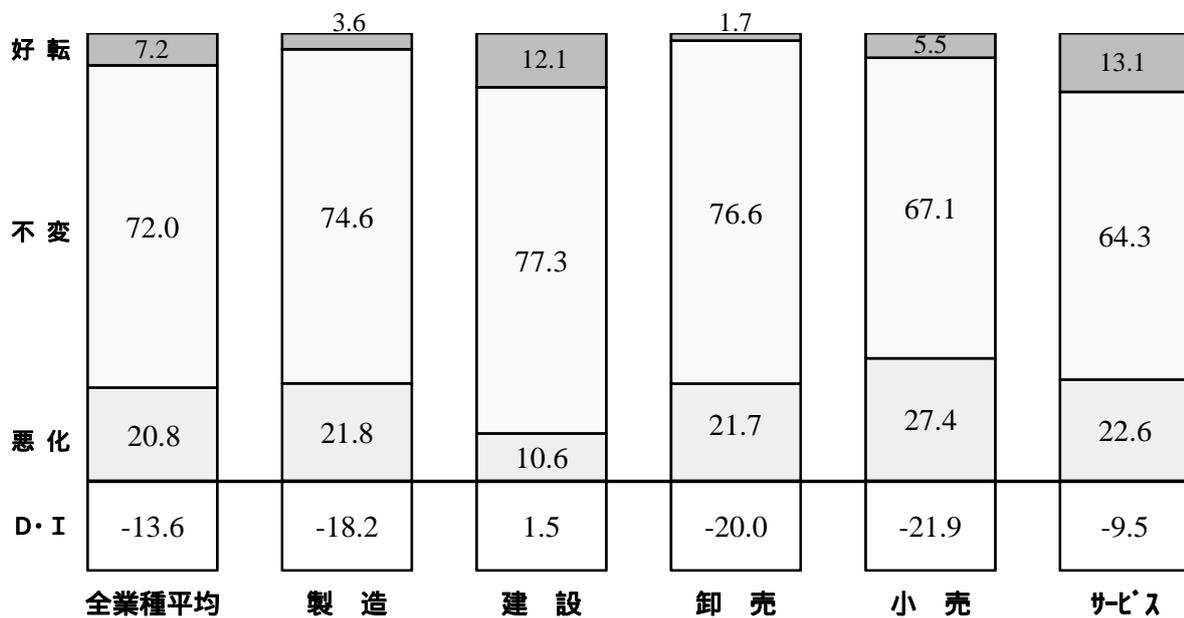
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成24年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移(全業種平均D・I)
(好転－悪化)



今期の資金繰り(前年同期比)



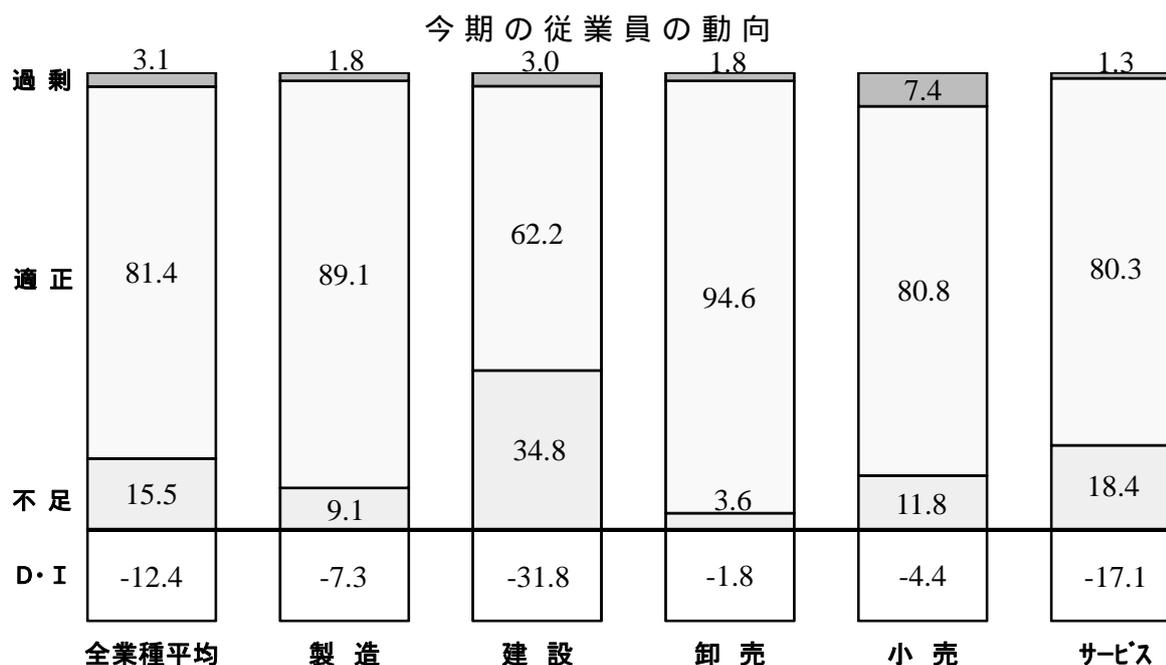
全業種平均でD・I値 13.6〔前回調査時(平成25年4～6月期 12.1)より1.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

[業種別D・I値] 製造〔前回 15.8 18.2〕、建設〔前回 0.0 1.5〕
卸売〔前回 9.8 20.0〕、小売〔前回 22.1 21.9〕
サービス〔前回 12.9 9.5〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「原材料価格の上昇」	(33.4%)	[前回 33.3%]
	「需要の停滞」	(20.8%)	[前回 27.1%]
	「製品（加工）単価の低下・上昇難」	(10.4%)	[前回 8.3%]
	「人件費の増加」	(10.4%)	[前回 4.2%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(20.7%)	[前回 20.2%]
	「材料単価の上昇」	(20.7%)	[前回 18.8%]
	「民間需要の停滞」	(12.2%)	[前回 9.4%]
卸売業	「需要の停滞」	(39.1%)	[前回 33.9%]
	「仕入単位の上昇」	(23.5%)	[前回 18.8%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(15.7%)	[前回 11.3%]
小売業	「需要の停滞」	(24.6%)	[前回 23.5%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(15.4%)	[前回 16.2%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(7.7%)	[前回 13.2%]
	「同業店の進出」	(7.7%)	[前回 5.9%]
サービス業	「需要の停滞」	(24.1%)	[前回 20.8%]
	「材料等仕入価格の上昇」	(13.4%)	[前回 14.3%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(12.2%)	[前回 23.4%]
	「大企業の進出による競争の激化」	(12.2%)	[前回 9.1%]

(6) 今期の従業員の動向

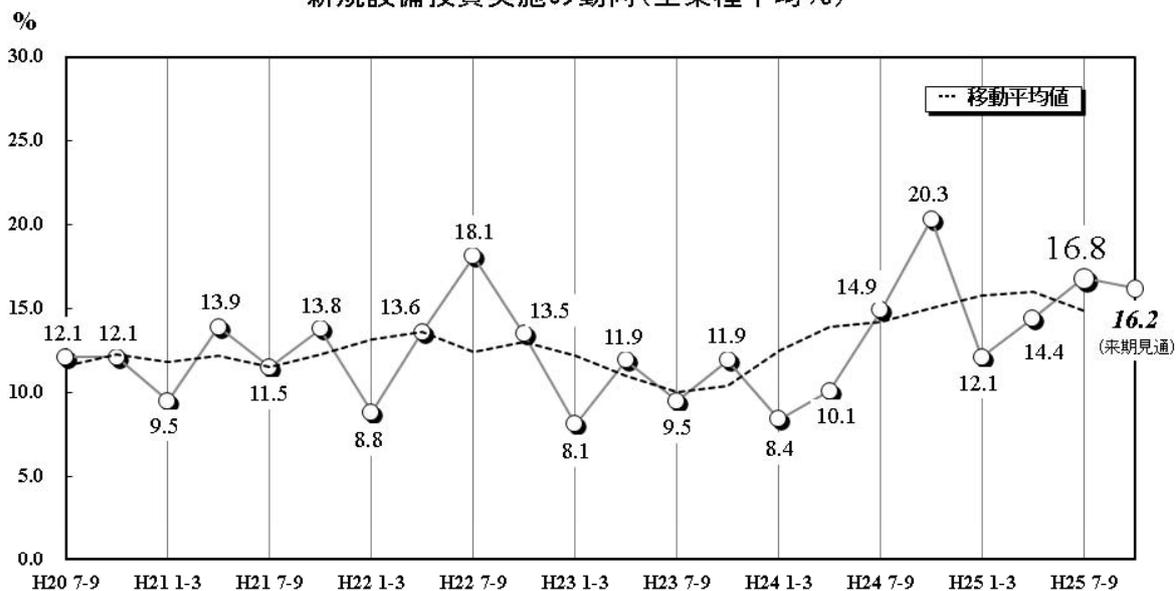


全業種平均でD・I値では▲12.4〔前回調査時（平成25年4～6月期 2.6）〕と、前回調査時に比べ全業種で不足と回答する企業が増えており、建設業では従業員が特に不足している結果となった。

[業種別D・I値] 製造〔前回 3.6 7.3〕（適正89.1%）
 建設〔前回 5.7 31.8〕（適正62.2%）
 卸売〔前回 0.0 1.8〕（適正94.6%）
 小売〔前回 1.4 4.4〕（適正80.8%）
 サービス〔前回 2.3 17.1〕（適正80.3%）

(7) 今期の新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



(単位%)

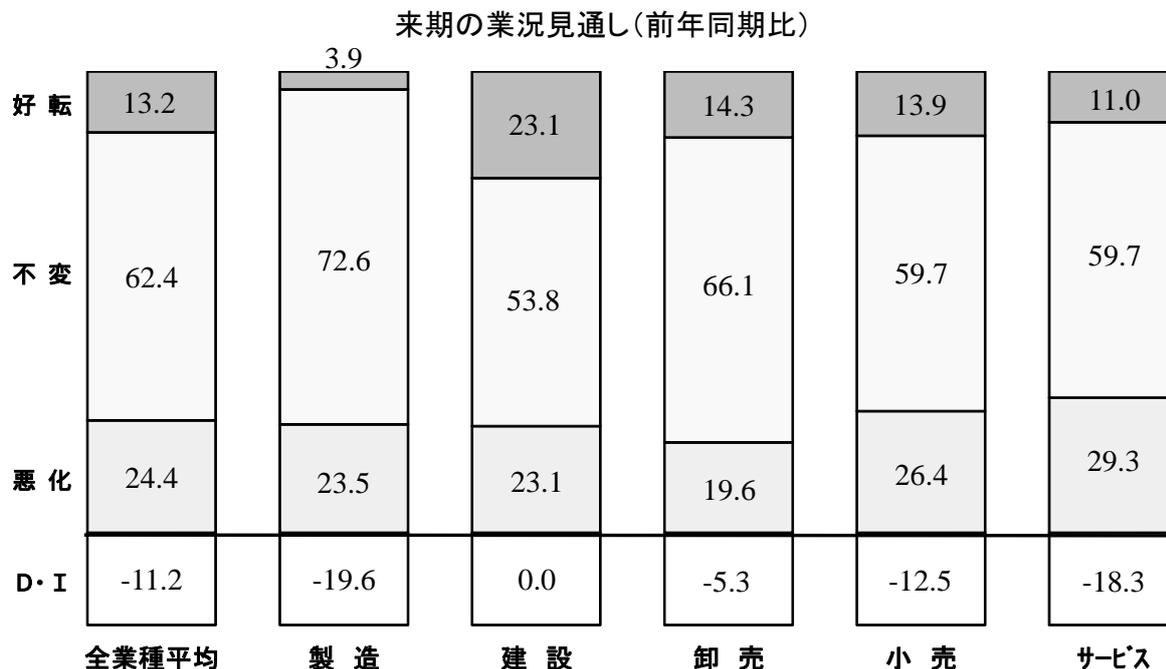
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	21.8	24.6	10.3	9.9	17.2	16.8
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	1.3
工場建物、建物、店舗	8.3	18.8	16.7	28.6	6.7	15.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	58.3	12.5	16.7	0.0	33.3	24.2
車両運搬具	25.0	37.5	66.7	71.4	26.7	45.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	25.0	6.2	16.7	0.0	13.3	12.2
O A 機器	33.3	43.8	16.7	42.9	53.3	38.0
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	6.2	0.0	0.0	20.0	5.2
実施していない	78.2	75.4	89.7	90.1	82.8	83.2

新たに設備投資を実施した企業は平均で**16.8%**〔前回調査時(平成25年4~6月期14.4%)〕、業種別では製造〔前回17.9% 21.8%〕、建設〔前回20.0% 24.6%〕、卸売〔前回6.8% 10.3%〕、小売〔前回9.7% 9.9%〕、サービス〔前回17.7% 17.2%〕と、サービス業を除く4業種において、前回調査に比べ設備投資を実施した企業は増加した。

2. 来期の見通し

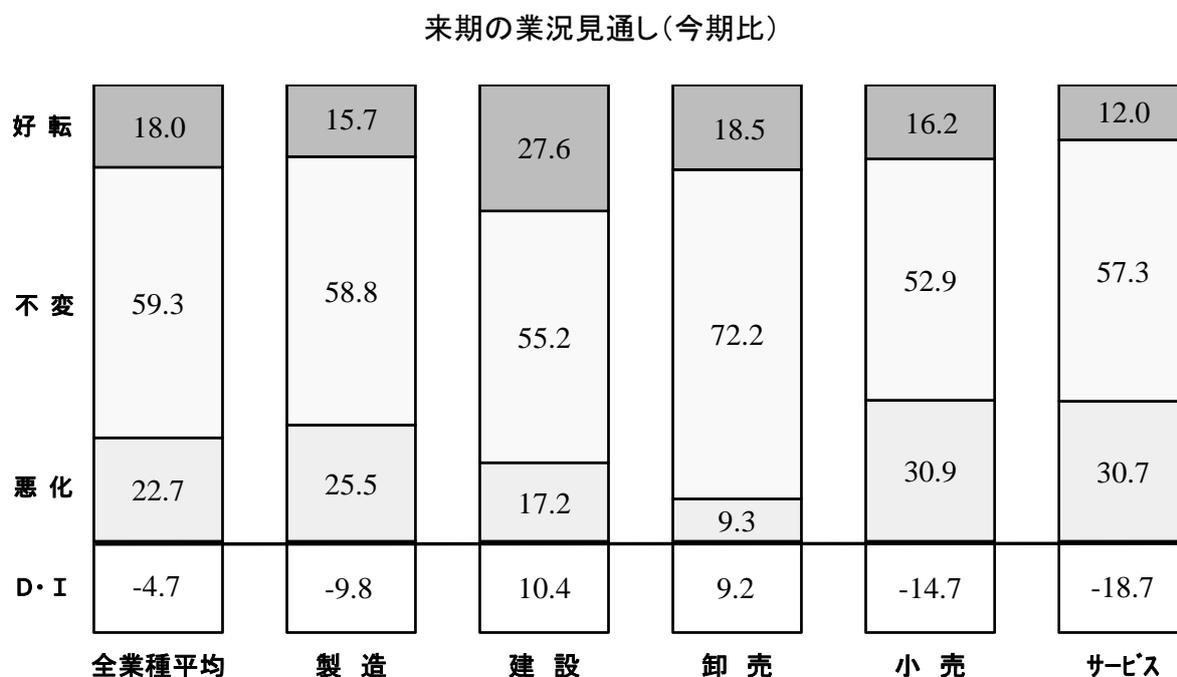
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成24年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 11.2〔今期の業況（前年同期比 8.6）より2.6ポイントマイナス幅が拡大〕と、悪化の動きが見られる。

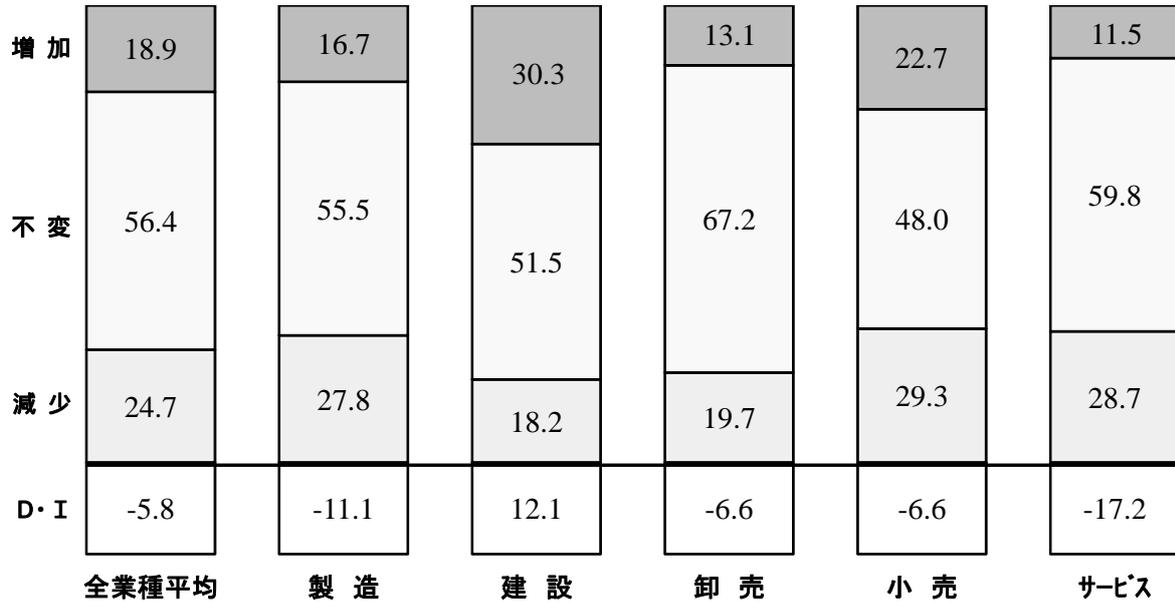
【今期比】（平成25年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成24年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し(前年同期比)

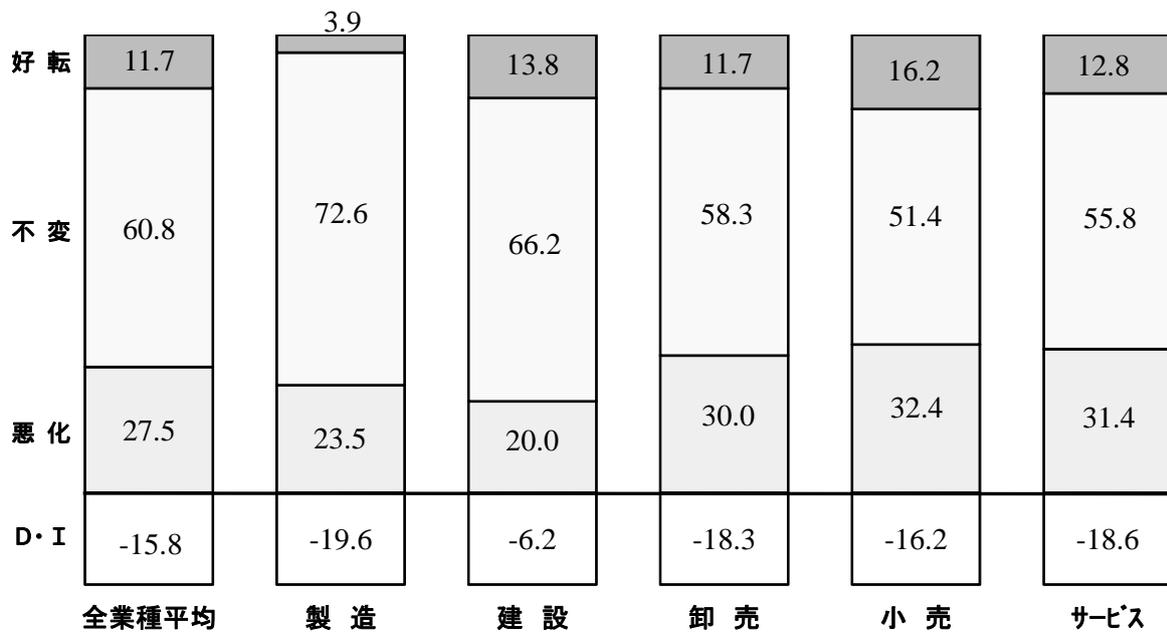


全業種平均でD・I値▲5.8〔今期の売上高（前年同期比 4.2）より1.6ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【来期】

来期の採算見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 15.8〔今期の採算（今期の水準 9.5）より6.3ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	23.1	15.6	16.9	7.4	17.9	16.2
土地	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	8.0
工場建物、建物、店舗	0.0	20.0	60.0	60.0	13.3	30.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	58.3	20.0	10.0	20.0	33.3	28.3
車両運搬具	0.0	40.0	40.0	40.0	26.7	29.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	25.0	10.0	10.0	0.0	0.0	9.0
O A 機器	25.0	50.0	10.0	60.0	53.3	39.7
厚生施設	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
その他	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	6.0
実施しない	76.9	84.4	83.1	92.6	82.1	83.8

来期、新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**16.2%**となっており、
 今期(16.8%)とほぼ横ばいで推移する見通しとなっている。

業種別では、製造〔今期21.8% 23.1%〕、建設〔今期24.6% 15.6%〕、卸売〔今期
 10.3% 16.9%〕、小売〔今期9.9% 7.4%〕、サービス〔今期17.2% 17.9%〕となっ
 ている。